

(知事メッセージ)

本日は、「がん予防キャンペーン大阪2005」シンポジウムにお集まりいただき、ありがとうございます。

お忙しい中、講師、シンポジストをお引き受けいただきました方々にも、お礼を申し上げます。

今年も昨年に引き続き、「がん予防」をテーマに開催させていただきますが、今回は、「検診」を取り上げていただくこととしました。

大阪のがん死亡率を減少させるため、大阪府では、喫煙習慣や食生活の改善などによる「がん予防の推進」、早期発見・早期治療につながる「がん検診の強化・促進」、地域で適切な医療を受けられる「がん医療の充実」などの対策に総合的に取り組んでいます。昨年は、より小さながんも発見できるという、ヘリカルCTを搭載した肺がん検診車を導入いたしましたし、今年は乳がん検診のためのマンモグラフィ撮影装置の整備に重点をおいています。

しかし、どんなに高価で精度の高い機器を導入いたしましても、多くのみなさまのご利用がなければなりません。「早期発見・早期治療」が大切だということは周知の事実だと思いますが、定期的に検診を受けている方は少ないのが現状です。「早期に見つけることができれば、簡単に治るがんも多い」と言われています。早く見つけるためには、検診は最も効果的な方法です。「わたしは大丈夫」と思わず、ぜひ、誕生日月などに検診を受けていただき、健康で、いつまでも明るく楽しい毎日を送っていただきたいと思います。

本日は所用のため、このシンポジウムに参加できませんが、がんの予防、検診の重要性について改めて知っていただく良い機会になると思います。帰られてから、ご家族やお友達にもお話していただき、一緒に検診を受けていただければ、このシンポジウムもより実り多いものとなると思います。

これをもって、簡単ではございますが、私のメッセージとさせていただきます。

平成17年9月2日

大阪府知事 太田 房江

<代読 大阪府健康福祉部地域保健福祉室副理事兼  
健康づくり感染症課長 土生川 洋>